

市渡・峠下間道路

○長橋道路○

大野から蝦夷地の北へ向かうには、山側の細い道を通る道路があった。平地の道路は、軟弱で橋を渡して通ることから長橋の地名となったという。

明治2年(1869)の「市渡村絵図」(文化財指定)には山沿いの道路が記載され、平地の道路は途中で途切れている。

明治4年(1871)、4月には平地の新道が半ば落成と記録にあることから、その年に開通したに違いない。

昭和42年(1967)、長橋陸橋が完成した。

＝新道開通＝

平成7年(1995)、新道道96号上磯・峠下線が開通した。

大野バイパスと直結し函館から国道5号の峠下へスムーズに抜けることができる。



市渡
交差点
付近
の
バイパス

箱館街道

箱館街道と文月道路は『大野町史』が便宜上名付けたものだ。

箱館街道は海岸を通過し一本木、千代田を通り長瀬・鍛冶在所(今の南大野)を通って大野に至る街道である。中心街は宿場町の体裁を成していた。道道756号

箱館から蝦夷の北へ向かう旅人は大野の宿屋に泊まったに違いない。寛文年間(1661～72)の地図に大野の名が記されている。

大野新道が開通し、馬車・バスの時代になると宿場町の様相は薄れていった。

文月道路

松前から北へ向かうには福山街道を経てショヤマ村へ入り、松前藩主が崇敬した文月稲荷神社、さらに進むと庚申塚のある道が文月道路である。昭和年代の道路改修でかなり直線化された。しかし、旧道を左右に見ることができ大野十字街に至る。道道96号



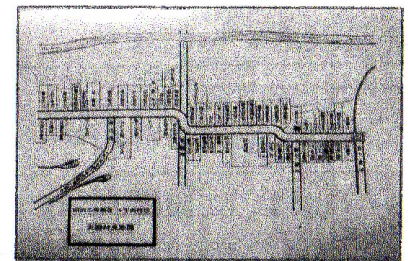
文月道路
の一部
左が現在
右が旧道

道

＝ 成 立 ち ＝

交通の要衝

大野十字街を基点にして



絵
図
略
図

安政年間と明治3年の「大野村絵図」(両方文化財指定)には、十字街を中心にして街並み、村々と繋がる道路を見て取れる。十字街は函館に次いで大野が知られてきた。

大野文化財保護研究会

2011、7